

2012.8.31 金

午後6時30分～

※食べ物バザーは午後5時30分開始

丸亀市民ひろば

※雨天の場合は、丸亀市民会館

入場無料

ビールと ドイツ音楽の タベ



収容された俘虜たち

1914年(大正3年)に勃発した第一次世界大戦。イギリスと交戦中のドイツに対して、日本は同盟関係にあったイギリスとともに中国領土内でドイツと戦火を交えました。数ヶ月間の攻防が続いた後、ドイツ軍は最後の砦となっていた青島(チンタオ)が陥落し、降伏しました。その際、捕虜として捕らえられたドイツ兵4,627人が、日本にあった12ヶ所(四国には松山、徳島、丸亀の3ヶ所)の俘虜収容所に送られました。

同年11月、丸亀俘虜収容所(本願寺塩屋別院)に収容された俘虜324人は2年5ヶ月もの長い間、丸亀で俘虜生活を送るのです。

当時の俘虜の生活は、個人個人を尊重した収容所運営を図っていて、運動することやビールを飲むことなどを許可するなどの運営が行われていました。

やがて彼らの能力を生かす機会も増え始めソーセージを作ったり技術者として学校などで技能の指導を行ったりしています。

また、一番興味深いのが、俘虜のエンゲルを中心に楽団を結成し26回もの演奏会を開催しています。(下部写真)当時の演奏された曲目も判明していて今回の演奏会でも演奏されます。

後に移転収容先となった板東収容所で日本初の“第九”の演奏がされたのも丸亀での活動がきっかけになっているのかもしれませんが。

(資料提供:鳴門市ドイツ館・丸亀市)

【内容】

●演奏… 当時の丸亀ドイツ兵俘虜楽団が、本願寺塩屋別院で演奏した曲目に想いを起こすことのできる場を提供します。

●食べ物バザー…

本場ドイツの食「ビール・ソーセージ・パン等」を販売します。ドイツの食文化をお腹いっぱい楽しんでください。その他の食べ物等もご期待ください。

●ドイツ兵俘虜関係のパネル写真展及びドイツ紹介ほか

主催：丸亀ドイツ兵俘虜楽団の足跡を辿る会
公益財団法人丸亀市福祉事業団 文化事業部

後援：大阪・神戸ドイツ連邦共和国総領事館
丸亀市/香川日独協会/丸亀市国際交流協会
四国新聞社/RNC西日本放送

お問い合わせ：丸亀市民会館 TEL0877-23-4141
<http://www.marugame-hall.org/>
丸亀ドイツ兵俘虜楽団の足跡を辿る会 事務局



【用語解説】
俘虜(ふりよ)と捕虜(ほりよ)の違いについて
戦前の日本陸軍では、戦争で敵国側に捕らえられた状態を「捕虜」といい、捕虜になった後、敵の国で拘束され、生活をしている状態を「俘虜」といつていたそうです。(広報まるがめより)